

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・学校評価のアンケートでは、全体的に中間評価よりも最終評価の方が高評価となっている。感染症対策のため、行事の見直しを行い目的や方法について丁寧に知らせてきたので、学校の方針をよく理解していただいた結果であると考えている。臨時休業に備えて、リモート授業にも対応できるように体制づくりをしたことが、家庭での自主学習の取組とICTの活用力アップにつながった。 ・志を高める教育として掲げている「ときわっ子体験活動」については、90%以上の児童が、学習した内容が自分のためになったと回答している。しかし、今年度は十分な体験活動ができず、「体験活動を通して、郷土について学びを得た」とは言い難い。次年度は、校内研の方法を工夫し、真に郷土について学びを得たと実感できる体験活動を計画・実施したい。
2 学校教育目標	生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐ ときわっ子の育成
3 本年度の重点目標	ア、確かな学力を育む教育活動の推進 イ、豊かな心を育む教育活動の推進 ウ、健やかな体を育む教育活動の推進 エ、特別支援教育活動の推進 オ、幼・保・小・中連携の推進 カ、時代のニーズに対応した教育の推進 キ、家庭・地域との連携強化 ク、働き方改革の推進

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標 (数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							・学力向上対策CD ・研究主任 ・指導方法工夫改善担当 (真子・大宅・飯田)
	○基礎学力を含む知識及び技能の定着を図り、活用力の向上を目指す。	・市販テストにおける「思考・判断・表現」の得点が、全国平均を上回る児童が60%以上。 ・保護者アンケートの基礎学力向上の成果で「そう思う」回答60%以上。	・テストごとに達成度合いを調べ振り返る。 ・各学級での取組を保護者に保護者面談や学級通信等で周知する。							・学力向上対策CD ・研究主任 ・特活・学習部 (真子・大宅・松尾)
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●豊かな心についてのアンケートにおいて肯定的な回答をした児童が85%以上(児童アンケートにて)	・道徳の授業の充実 ・年2回の道徳強化週間の設定(教師相互の授業参観) ・道徳的掲示板「ときわの木」の充実							・道徳教育推進教員 ・人権・同和教育担当 (大宅・原・永石)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止について、教師の組織的対応ができたと回答する職員が、80%以上(教職員アンケート)	・いじめに関するアンケートや学期一回のQUアンケートを実施し、児童の状況把握に努める。 ・毎月の児童支援連絡会で気になる事案等について共通理解を図る。							・生徒指導主任 ・教育相談担当 (大宅・神崎)
	◎「ときわっ子体験活動」を中心とした郷土について学ぶ体験活動の充実	●体験活動についてのアンケートで、郷土についての学びを得たと考える児童が90%以上。	・生活科、総合的な学習の時間における体験活動についてのアンケートを実施し、児童の姿容を考察する。 ・学期末に、教職員へのアンケートを実施する。							・総合的な学習・生活科主任 ・研究主任 ・特別活動担当 (大宅・延・松尾)
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童95%以上(児童アンケート) ・「好き嫌いをせず食べている」と回答した児童が80%以上。(児童アンケート)	・児童に食育標語を書かせ食に関する興味・関心をもたせることで、食事の重要性や感謝の気持ちを育む。 ・給食委員会の活動として、給食の月目標や季節行事や行事に関する「食」についての情報を発信し、健康委員会によるスポーツチャレンジの実施や外遊びの奨励。 ・運動会や相撲大会では、日々の声掛け等で競争意識をもたせ、積極的に取り組ませる。							・給食・食育担当 (飯田・延・山口)
	○体育的行事や健康委員会による活動の充実	●体力テストで全国平均を上回った項目が70%以上								・体育主任 ・健康委員会担当 (前田・神崎)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在学等時間(月45時間、年間360時間)の上限を遵守する。	・定時退勤日を設定し、見直しをもった業務を行うようにする。							・管理職
	○学校行事や会議等の精選・効率化の推進	○職員会議のペーパーレス化による効率化を図り、20%の時間短縮を実践する。	・会議、行事等の内容について、教育効果を吟味し、教育活動の精選を行う。							・管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標 (数値目標)								
○幼・保・小・中連携の推進	○授業参観及び合同研修会の実施	○武雄中学校区内の小中学校への授業参観及び研究会への参加100%	・幼保及び武雄中学校区小中学校職員との情報交換を通して、基本的な生活習慣および学習指導などの連携を図る。							・幼・保・小・中連携担当 (真子・原)
○特別支援教育活動の推進	○特別支援教育研修及びケース会議の充実	○特別支援に関する専門性が向上したと認識した教職員が70%以上(研修後のアンケート)	・交流学級と連携を図り、教師の専門性を高めるための特別支援に関する研修会の実施。 ・ケース会議の実施、情報交換							・特別支援教育CD (川久保・永石)
○時代のニーズに対応した教育の推進	○情報モラル教育の充実	○情報モラル教室後のアンケートで、「個人情報取り扱いに気を付けるべき」と回答する児童70%以上。	・情報モラル教室を3～6年生を対象に行う。 ・道徳科の情報モラルを題材にした教材を各学級で取り扱う。							・情報化推進リーダー ・生活指導担当 (延・坂元・大宅)
	○防災教育の充実	○防災講座・集団下校後のアンケートで、「防災意識が高まった」と回答する児童70%以上。	・地域消防団を講師とする防災講座を全校児童を対象に行う。 ・定期のほか、警報発令時に集団下校引率を行う。							・安全指導担当 (真子・延)
○家庭・地域との連携強化	○育友会活動の充実	○保護者アンケートで「育友会活動に積極的に参加している」と回答する保護者90%以上。	・学校だより、学級だより、学校HP等を通じて、授業参観、育友会教育講演会などの行事を積極的に周知する。							・育友会担当 (北川)

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------